学校番号	２０６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	学年	２年
使用教科書	美術２（光村図書）						
副教材等	なし						

1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体性をもって作品制作（課題）に臨む。表現の多様性を認識し、互いを認めあう。自身の常識を超える表現を試み、常に新しい作品（課題）にチャレンジする。

・1年に引き続き、対象の観察、形態や色彩の適切な捉え方を学習します。
・観察力・造形能力の向上をめざすとともに、多様な素材を使用することで美術への興味関心を伸ばし、豊かな表現能力を養う学習を行ないます。
・制作後のレポートと全員での合評会で客観的な鑑賞学習を行ないます。

2. 学習の到達目標

(1) 造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
(2) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
(3) 主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形や色彩、材料や光などの造形的特徴をとらえて、主題に沿った表現が行えているか、また材料や用具の特徴を生かして表現方法を工夫しているかを評価します。	造形的な見方、考え方を働かせて感じたことを創造的に表現できているか、また他者の作品の良さを理解し自身の作品への客観的視点が養えているかを評価します。	主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に取り組み入れながら、活動に取り組めているかを評価します。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ロゴデザイン「箕面高校のオリジナル校章を創作する」	【デザイン】【鑑賞】 ・マークやピクトグラムなどのサインは伝えたい内容やイメージを視覚的に記号化したものであり、言葉や説明を用いず、見る人の文化や言語が異なっていても、コミュニケーションが成り立つことを目的にしていることを学び、制作する。 ・全員の作品を相互鑑賞する。	a：（知識・技能） 形や色彩の性質やそれらが感情にもたらす効果、伝達の意図や目的に求められる造形的な特徴などを基に、全体のイメージでとらえることを理解している。 また、材料や用具の特性を生かして、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 b:（思考・判断・表現） 伝達する内容や目的などから主題を生成し、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に考えて、表現の構想を練っている。 c:（主体的に学習に取り組む態度） 伝達する内容や目的を、マークやピクトグラムで表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、相互評価と鑑賞レポートにより言語化し、表現への理解を深めている。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート

2学期	沖縄ガイド（ポスター）	【デザイン】【鑑賞】 ・情報発信の手段が多様化する時代の中で、高齢の人や児童、また同時に多数の人が見たり、地域を限定する情報であったりと、ポスターは魅力的な情報伝達媒体であることを学び、制作する。 ・ポスターが社会全体に果たす役割や、責任を考え、主題を生成し、創造的な表現活動を行う。 ・全員の作品を相互鑑賞する	a:（知識・技能） 生活や社会を豊かにする美術の働きやデザインの目的、作品の機能や用途、美しさを考えて表現することに関心を持ち表現や鑑賞の活動に対して主体的に取り組もうとしている。 b:（思考・判断・表現） 実際に使用することを考え、作品の目的や機能、美しさ、使いやすさから制作主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c:（主体的に学習に取り組む態度） 伝えたいメッセージや伝える場面などをもとに、形や色、テクスチャー、イラストやレタリング、コラージュや立体造形による伝達効果を考え、構想を展開させ、表現活動をしている。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート
3学期	一版多色刷り木版画	【版画】【鑑賞】 ・版を用いることによる独特な表現の味わいを知り、版画の特性を生かした表現を工夫する。 また、版を経ることで生まれる独特な表現の面白さに着目する。 ・全員の作品を相互鑑賞する。	a:（知識・技能） 版による表現の美しさに関心を持ち描写の基本行動に主体的に取り組もうとしている。 b:（思考・判断・表現） 版による表現の効果や特性を生かし、また版画の技法や材料、用具の特性を理解し、創意工夫して表現しようとしている。 c:（主体的に学習に取り組む態度） 線や面、色彩など、版による表現の特性や効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫し、主題を追求し創造的に表している。 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、相互評価と鑑賞レポートにより言語化し、表現への理解を深めている。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度